

あえて輪郭線を排した、そのシンプルな画風に込められた圧倒的な表現力

『ロング・ウェイ・ノース 地球のてっぺん』は、美しい画面に酔いしれているうちに、氷の砕ける音、風や波の音、主人公の眼差し、後れ毛、吐息といったミニマムな要素一つ一つが積み重なって、観るものを北極圏の旅に誘ってくれる作品です。アヌシー国際アニメーション映画祭で観客賞を受賞、TAAF(東京アニメアワードフェスティバル)2016では見事グランプリを受賞しています。

高畑勲監督が切望した日本公開が3年越しに実現!



『Long Way North』
応援スピーチ

2016年7月28日、TAAFの上映会で応援スピーチに登壇された監督は、本作の日本公開を切望されていました。また、本作の持つ「単純さ」を高く評価されました。そして「作品の中でいっぱいウソをついている。このウソのつき方が気持ちいい」とも。どんなウソが散りばめられているかは、ぜひ劇場でご確認ください。

独特な画風はこうして生まれた!

レミ・シャイエ監はインタビューの中で、このシンプルな画風に至った経緯をいくつかあげています。第一に予算の問題。服のしわや、髪の毛一本一本を描くよりも大事にしたいことがあったから。また、配色のイメージは1940年代のアメリカの鉄道会社のポスターからインスパイアされた。そして作画監督が人物、背景両面を同時進行で見ることでイラストのような美的なシーン構成が実現されたとのこと。



米映画批評家サイトRotten Tomatoesで驚異の98%!

面白さ(新鮮なトマト)の数値であるトマトメーター98%は『トイ・ストーリー4』と同ポイント! 『ロング・ウェイ・ノース 地球のてっぺん』は、『アヴリルと奇妙な世界』『ディリリとパリの時間旅行』『エセルとアーネスト ふたりの物語』『幸福路のチー』といった2019年秋に公開相次ぐ海外アニメの秀作の中にあって、まさにダークホース的な存在です。

日本語吹替え版のキャスティング決定!

主人公サーシャは「ケモノフレンズ」シリーズ ワシミズク役で人気の上原あかり。困難に立ち向かい、周囲の人々に影響を与えながら、一步一步前進していく芯の強い少女役に挑みます。



ジュール・ヴェルス冒険譚を
読む時の至福の時間を
体験できる (ルモンド)

ミニマムで詩的なビジュアルと、
息を呑むような大胆さの融合
(ハリウッド・リポーター)

19世紀ロシア、貴族の子女サーシャが行方不明の祖父を探しに、北極圏を目指す物語。

9月6日(金)より、待望の日本公開決定!!

料金(税込) 当日:一般1,800円/学生1,500円 前売り鑑賞券
シニア1,200円/障がい者1,200円 1,500円

上映スケジュールは、作品HomePage/写真美術館HomePage等にてご確認ください。 作品内容の問い合わせ先:リスケット TEL 047-317-0841 info@riskit.jp

JR恵比寿駅東口改札より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分 恵比寿ガーデンプレイス内

東京都写真美術館ホール TEL 03-3280-0099(代表) www.topmuseum.jp

作品内容問い合わせ先: 株式会社リスケット TEL 070-4280-6282 info@riskit.jp

東口 動く通路
至 渋谷 JR恵比寿駅
日比谷線恵比寿駅 1番出口
恵比寿ガーデンプレイス TOP MUSEUM